

# 3D モデルを使って魚津工業の魅力を発信しよう

## 1. 背景

私たちの地元の魚津市では近年少子高齢化や人口減少などによって過疎化が進んでいる。その原因として魚津市では全国でも知名度が低く、多くの若者らも他の街や他県に移住する人が増えたためである。そこで、若年層から支持を集めるためにアニメなどにも使用される3Dモデルを使用して、地域の魅力や有名スポットを紹介しようと思った。

## 2. 使用ソフトウェア

- (1) Blender：3DCG・3DCG アニメーションを制作するためのツール
- (2) MMDTools：MMDのモデルデータ、モーションデータ、ポーズデータをインポートするためのBlenderアドオン
- (3) PMXエディタ：pmx/pmdファイルを編集するためのソフト
- (4) MMD：キャラクターを使ったアニメーションや3Dモデルの制作が可能な無料ソフトウェア
- (5) Fimora：動画編集ソフト

## 3. 制作過程

- ① 3Dモデルと元となるキャラクターを決める
- ② 以前残っていたSTLファイルBlenderで読み込む
- ③ BlenderにMMDToolsのアドオンを入れてミラタンを配色し、PMX拡張子で出力する
- ④ PMXエディタでミラタンのサイズを調整する
- ⑤ ミラタンをMMDで読み込み、動きを作る
- ⑥ ミラタンが動いている動画をFimoraで編集して完成

## 4. 結果・考察

- ① …3Dモデルとして魚津市のマスコットキャラクターとして代表的なミラタンをつかった。
- ② …先人たちが残してくれたミラタンのCAD用データをBlenderで読み込めるように変換してインポートした
- ③ …Blenderでミラタンを動かすためにボーンを入れて配色し、MMDでも読み込める拡張子に変えることができた。
- ④ …MMDでミラタンを読み込んでサイズを確認しながらPMXエディタでサイズを調整した。
- ⑤ …ミラタンをMMDに読み込んで30フレームで動きを作り、AVI拡張子に出力できた。
- ⑥ …Fimoraを使ってミラタンの素材に字幕や声などを入れ、それらを編集して動画を作成した。

これらの中では、STLからPMXに変換するのに何度も失敗した③とMMDでミラタンを読み込むことができて、ボーンが反映されず、思うように動かすことができなかった⑤が一番苦労した。

作成した動画をSNSなどで公開することで目的を達成したい。